

きらボ通信

第5号(2010年9月)

明星大学ボランティアセンター(愛称:きらきらボランティアセンター)

特集1:学生ボランティア活動へのお誘い

特集2:学外でも認められるサークル活動

リスの動画に見る小さな親切

前日野校学生部長 小鍛冶 徳雄
(理工学部教授)



ある朝 NHK テレビで「Try to do—UCLA のリス—」という動画が紹介されました。ところはカリフォルニア大学ロサンゼルス校の構内、2匹のリス、おそらく母と子であろう、が道路向こうの林に行こうとするのだが、それには高い塀を越えなければならない。母リスはジャンプしてやすやすと塀を乗り越えるが、子リスはできない。母リスが何度も何度もやってみせるが、子リスは失敗を繰り返すばかり。そばで見ていた学生と思われる人が自分のリュックを塀に立てかけてあげる。子リスはリュックの上に上がってジャンプするが、まだ届かない。そこで別の人がセメント袋か土袋のようなリュックよりも背が高くて固い袋を塀に立てかけてくれる。子リスはあきらめかけて元来た方向へ引き返すが、母リスが連れ戻す。子リスはその踏み台に乗ってついに塀を乗り越

えるのに成功する。

この物語にはリスの親子に手を貸した二人の人がいます。困っている者を見るとつい手を差しのべたくなる、ボランティア活動の原点はここにあるといえるでしょう。この動画を見ていて、1963年に東京大学の茅誠司学長が提唱した「小さな親切運動」を思い出しました。親切のなだれを起こして日本中を埋め尽くそうと呼びかけたのです。まもなく社団法人「小さな親切」運動本部が設立されて今日に至っています。「小さな親切」は一人でもできますが、更に一歩進めてグループ活動に加われば、一人ではなかなか勇気の要ることも比較的容易に行えるし、普段出会わないような異なった年齢、地域、職業の人たちとも交流する機会があり、そのことを通じて人間的に大きく成長することも期待できるでしょう。

特集1：学生ボランティア活動へのお誘い

明星大学ボランティアセンターでは、新入生を迎えた4月、本センターを会場に、教職員による「昼休みミニ講演会」を2週間にわたって開催しました。参加者は延べ111人でした。また、前期試験を前にした6月28日から7回にわたり、昼休みに学内ボランティア団体による「学生ボランティア活動紹介」(11団体)を開催し、延べ121人の参加を得ました。7月7日にはこのプログラムを振り返る「総括ミーティング」も行いました。

明星大学ボランティアセンター 昼休みミニ講演会

学生ボランティア活動へのお誘い
—広がる世界、つながる仲間—

日程：H22年4月12日(月)～4月23日(金) 12:25～12:45(20分)

会場：きらきらボランティアセンター
〔日野校22号館(大学会館)2階〕

日程	昼休み(12:25-12:45)	参加者数
4月12日(月)	「ボランティア活動入門」 吉田雅行(ボランティアセンター主幹)	11
4月13日(火)	「阪神淡路大震災の被災地にかけつけた明星大学生たち」 渡戸一郎教授(ボランティアセンター長・人間社会学科)	12
4月14日(水)	「自然環境保全ボランティア」 吉澤秀二教授(ボランティアセンター副センター長・環境システム学科)	6
4月15日(木)	「夜回り活動とボランティア」 石田健太郎(社会福祉士実習指導員)	9
4月16日(金)	「絵本を使った読み聞かせボランティア」 菱山覚一郎教授(教育学科)	10
4月19日(月)	「障がいのある子どもへのボランティア活動」 星山麻木教授(教育学科)	13
4月20日(火)	「阪神淡路大震災の被災地にかけつけた明星大学生たち」 渡戸一郎教授(ボランティアセンター長・人間社会学科)	10
4月21日(水)	「自然環境保全ボランティア」 吉澤秀二教授(ボランティアセンター副センター長・環境システム学科)	7
4月22日(木)	「コミュニケーションの技」 黒岩誠教授(心理学科)	21
4月23日(金)	「明星大 学生たちのボランティア活動」 畑野理美(ボランティアセンター主任)	12
	合 計	111

きらきらボランティアセンター



学生ボランティア活動紹介

—広がる世界、つながる仲間—

「知ってる？明星の学生ボランティア活動ってけっこうすごいよ！」

きらぽ学生ボランティア団体が、自分たちのボランティア活動を紹介します。
ぜひお越しください。

日程：H22年6月28日(月)～7月7日(水) 12：20～12：40
会場：きらぽボランティアセンター（日野校22号館（大学会館）2階）

日程	団体名	報告者	活動概要 主な夏休みの活動計画、日常活動の紹介他	参加者数	
6月28日(月)	① Star☆Shops	教育4年 花香 洋平	世界につながるOne Actionをコンセプトとして、障がいのある方と共に、イベントの企画・運営などを行っています。	10	
	② BUKAS	教育2年 伊藤 愛可	①海外ボランティアスタディツアー ②児童養護施設でのボランティア		
6月29日(火)	① NPO法人 朝日キャンプ	教育2年 羽生 菜実	知的障がいや自閉症の方を対象に、夏に行う山や海でのキャンプなど。その他年間を通して様々なプログラムを実施しています。	19	
	② 教育研究部	心理3年 渡邊 明日香	子ども会活動、夏合宿、学習会など		
6月30日(水)	① ひまわり	教育3年 中村 友香	七生福祉園低年1寮の子ども達と、学生の考えた遊びを一緒に行う。	18	
	② Idear研究会	機械システム3年 新倉 央翔	アイデア勝負の企画屋集団です。ホテル見学ツアーなど面白企画を生み出しています。また、明星大学初の環境サークルです。		
7月1日(木)	① 授業研究会 「おはよう」の会	教育2年 風間 康宏	将来本気で教師を目指す人達を中心に授業力を高めていくことを目的に活動しています。	11	
	② 初等教育研究会 どろんこの会	教育3年 梅本 卓	地域や児童館の子ども達と遊びやキャンプを通してお互い成長する。普段も土、日等に地域や児童館の子供たちと遊んでいます。		
7月2日(金)	① ボランティアサークル めばえの会	心理3年 石丸 元紀	ハンディキャップを持った人たちの支援活動や近隣の福祉施設の活動に協力。夏合宿や、キャンプなど。	9	
	② 児童文化研究会 人形劇団「まめ」	教育3年 水村 佳代	主に人形劇の公演を通して、子どもたちとの交流をします。		
7月5日(月)	① へき地教育研究会	教育3年 内堀 慎太郎	約1週間、地方の小学校・幼稚園に入り、先生方・子ども達・地域の方との交流を行う。	7	
	② ボランティアサークル 「SMILY」	教育3年 小沼 大地	主に夏休みは学生同士の交流として夏合宿を行います。普段は2回ほど発達障害を持つお子さんと保護者の方と交流しています		
7月6日(火)	① 海外支援サークル あすなろ	教育2年 中嶋 智美	①海外の恵まれない子供達に奨学金を送っています。 ②海外に幼稚園を建設しています。 ③英語教育 ④他大学との交流 ⑤国際シンポジウム参加など。	22	
	② 学生教育ボランティア	人間社会4年 笠原 雄	活動報告：小作台小学校(羽村市)		
7月7日(水)	総括ミーティング	日野市ボランティア・センター 浜野智之氏 他		25	
(①12:20～12:30 ②12:30～12:40)				合計	121

きらぽボランティアセンター

人の話を聴く練習をしてみましょうか

黒岩 誠

(人文学部 心理学科 教授)

人の話を聴く練習をしてみましょうか。

先日、きらボセンターの畑野さんと、何ということのないおしゃべりをしていたら、少しずつ話が大きくなって、きらボセンターでちょっとしたプロジェクトを立ち上げようか、といった話になりました。でもそんなことはいつの間にか記憶の底の方に沈んでしまっていました。金曜日の3限に28号館のエレベータに乗ったら、畑野さんが「こんにちは」といって一緒に乗ってこられました。「先生よろしくお願ひします。」といわれてはじめて、記憶の底に沈んでいた約束がよみがえってきました。そう、その日こそ大プロジェクトの発足した日だったのです。「この日の4年生のゼミで、マイクロカウンセリングのロールプレイをやっているの、よかったら参加しませんか。」とおしゃべりのときに自分から言い出した約束をすっかり忘れて、エレベータで、「こんなところでお目にかかるのは珍しいですね。」なんて顔をして、畑野さんを見ていたのです。そんな経緯で今日は皆さんにこの大プロジェクトの企画をご披露しようと思います。畑野さんはお立場上、傾聴技法の研修をなさっていますし、私はカウンセラーで、心理学科で臨床心理学を教えているので、この2人が組むときらボセンターの傾聴技法のトレーニングシステムを立ち上げるのに、これ以上はないパートナーシップを組むことができそうなのです。

さて、人の話をきちんと聴くということはどんなことだと思いますか。喫茶店で向かい合ってコーヒーを飲みながら話をするのは楽しいですね。コーヒーをすすりながら相手の言葉に耳を傾け

る。恋人同士でも、親友同士でもほのぼのとした感じがいいですね。それでは、ここでカウンセラーとクライアント（相談する人）が話しているとどんな状況になると思いますか。雰囲気はあまり変わらないと思います。ほのぼのした感じがかもされることでしょう。クライアントはせっかく頼んだのですから、コーヒーに口をつけるでしょう。でもカウンセラーは微笑みながら話を聴いていたとしても、たぶんコーヒーを口にすることはないでしょう。一生懸命に聴き、クライアントの気持ちを持ち量り、クライアントの話したことをひと言ひと言心に刻み込みながら、次に自分が何を話すか真剣に考えているのです。人の話をきちんと聴くという作業は見た目よりもずっと集中力とエネルギーが要求されます。傾聴ボランティアはカウンセリングとは目的が違うので、そこまでシビアな要求はありませんが、本質は変わりません。

そんなこんなで、この記事を書いていただくことになったわけですが、皆さんきらボセンターで練習を始めましょうか。ご希望があれば、畑野さんと計画しようと考えています。



明星大12号館 カフェレストランの近況報告

スターショップスが輝きはじめました！

伊藤 勲

(NPO法人やまぼうし 理事長)

「明星大学内に学生カフェをオープンしたいので協力していただけないか」という要請を昨年8月に明星大学ボランティアセンター課長の宮崎茂男さんから受けて、丁度1年が経過しました。店名のスターショップスは、単なるカフェではなく、学生の様々な企画が持ち込めるような多彩な創造的空間にしたいとの思いから、ショップスと学生プロジェクトが命名されました。そうはいつでも、まずはカフェが学生のみなさんに愛用いただけるようになることが肝心です。やまぼうしは、メイン商品として、特製のバーガーとカレー、ヘルシー弁当の3品に絞って商品開発を進めてきました。おかげさまで、毎日3～5万円の売り上げをコンスタントに維持できるようになっています。最少のスタッフの踏ん張りや障害者メンバーのパワーアップは目を見張るものがあります。また、地域住民の方も、手が足りない時にはお手伝いくださり、店先にはお花の先生の生け花が絶えることがありません。肝心の学生参加は中心となってきた4年生グループが卒業した後の、新体制への継承がうまくいくのか懸念されましたが、新たな体制が生まれ安心しています。

懸案だった「カフェ運営協議会」も7月12日

正式に発足しました。垣内学生部長、学生代表の熊沢さん、ボランティアセンターを含む大学事務局メンバーや学友会運営委員長も参加され、明星大あげての運営体制を築かれ、初期の目的実現にむけた大きな1歩を踏み出しました

大学カフェ・サマースクール大成功！

学生参加プログラムの第1弾となる、体験ワークショップ 大学カフェ・サマースクールが8月2日、3日の両日開催され、180人もの方が参加されました。

このサマースクールは、「自立と体験Ⅱ」のカリキュラムに組み込まれ、教育学部の1年生約80人が、4月から7月までの3ヶ月間カフェで働く体験を積み上げてきました。当日は発達障害のある小学生と家族が参加し、個別学習支援の後、パンとピザづくりを体験してのランチ、午後は、カフェプロジェクトのメンバーとともに、学生企画の各種ゲームやワークショップにみなさん熱中していました。明星大のよさが存分に発揮されたサマースクールでした。やまぼうしのスタッフの池田も手品師として登場し大人気でした。来年はサマースクールがどんな進化をみせるか楽しみです。



ナジック賞受賞にあたって

浅野 泰平

(ボランティアサークル「めばえの会」)

私達「めばえの会」は、障がいを抱えた方達と一緒に、お出かけやスポーツなどを通して楽しい時を過ごすことを目的として活動しています。この活動を通して、直接触れ合うことにより「障がいとは何か」を体験的に学ぶことができます。

また、ハンディキャップを持ちながらも私達と同じように生きている障がい者を、周囲の人達に理解してもらいたい、そのためにはどのようにすればよいのかを探していくことも、大切だと考えています。そのため、触れ合う機会を得るために、定期的な活動のみならず、近隣の福祉施設等へのボランティアも行っています。

これらの活動が、結果として「ナジック賞受賞」という形で評価していただけたこと、部員一同、嬉しく思っています。

様々な出会いの中で、これまで多くを学ばせていただきましたが、その中で部員一人ひとりが「楽しみながら」活動していくことを心掛けてきました。今後も、1つ1つの活動を「みんなが楽しめる、温かい雰囲気」にし、それを維持していくことを目標に活動していきたいと思えます。



めばえの会の主な活動

・「プリズムクラブ」

カラオケやボーリングなどを通して軽度の知的障がいの方達と交流を持つという活動です。毎月土曜日に2回ほど予定されており、音楽をかけて、一緒におしゃべりをしながら楽しく活動しています。

・「竹ん子」

正式名称を「府中市肢体不自由児者 子ども会 竹ん子」といい、車椅子の方たちと、お出かけやクッキングを通して触れ合う活動です。毎月日曜日に1、2回の頻度で予定されており、車椅子の体験が活動の中でできるとともに、食事介助などからも学ぶことが多く、日々勉強させていただいています。

・「訪問学級」

「日野市障害者問題を考える会・障害者訪問学級」からお話をいただき、めばえの会の学生を講師として障がい者の方のお宅へ直接訪問し、生涯学習のお手伝いをさせていただいています。毎週土曜日(男性)にトレーニング、日曜日(女性)にはお出かけや絵本の読み聞かせを行っています。

めばえの会の活動内容一覧：上記以外（H21年4月～9月）

- H21年4月18日、7月4日、9月12日 プリズムクラブ(活動内容：スポーツ、延べ参加者：26名)
- H21年4月25日、7月25日、9月26日プリズムクラブ(活動内容：クッキング、延べ参加者：23名)
- H21年5月16日、9月12日 プリズムクラブ(活動内容：ボーリング、延べ参加者：16名)
- H21年8月7日～8日 夏合宿(行先：千葉県、参加者：15名)
- H21年8月20日～21日 「夢ふうせん」 旅行付き添いボラ(行先：草津、参加者：2名)
- H21年4月4日～9月26日 訪問学級(活動内容：トレーニング、延べ参加者：12名)

その他のボランティア（サークル活動外）

- H20年3月～ 「ふだん着でCO2をへらそう」事業の宣伝活動への参加(延べ参加者：14名)
- H20年5月～ 車椅子教室移動支援(延べ参加者：45名)
- H20年11月～H21年9月 近隣の清掃活動（道路・側溝他）ボランティア(延べ参加者：6名)
- H21年5月30日～7月18日 通信心理学実験ノートテイク(延べ参加者：3名)
- H21年7月11日、28日 日野警察署犯罪防止キャンペーン支援ボランティア(延べ参加者：7名)
- H21年8月12日 多摩川花火大会日野療護園付添ボランティア(参加者：2名)
- H21年8月24日～9月4日 「すずかけの家」 作業補助ボランティア(延べ参加者：6名)



● 学生サポートセンター「学生ボランティア団体」助成制度

財団法人学生サポートセンターが主催する制度で平成15年度に開設。大学生の社会参加の第一歩となり、社会をより良くしていこうとするリーダーシップの芽生えとなる学生ボランティア活動を支援する。「めばえの会」は第1回に続き2度目の受賞。

ソニーマーケティング学生ボランティアファンド入選にあたって

中嶋 智美

(海外支援サークル「あすなろの会」)

海外支援サークル「あすなろの会」では、部員でミーティングを重ね、今回「つながる(絵)がお♪」という企画を考え、ソニーマーケティング学生ボランティアファンドに採択されました。

あすなろの会では、現在、主にフィリピンの4年制のハイスクール生9名と4棟の幼稚園の子どもたちを支援しています。ハイスクール生には手紙のやり取りをしたり、紹介カードを送ったりしました。今回は、現地子どもたちとさらに交流を深めたいと思い、『将来の夢』という同じテーマで、フィリピンの学生と日本の学生とで絵の交換をしたいと考えました。この企画を通して、お互いの将来の夢を知ることができ、さらに絵はひとりひとりの個性が出るので、絵の交換を通してお互いの心の距離を縮めたいと部員みんな

考え企画しました。また、支援している幼稚園でも同じような絵の交換をしてみたいと考えています。武蔵村山市の幼稚園に国際交流として参加してもらっています。

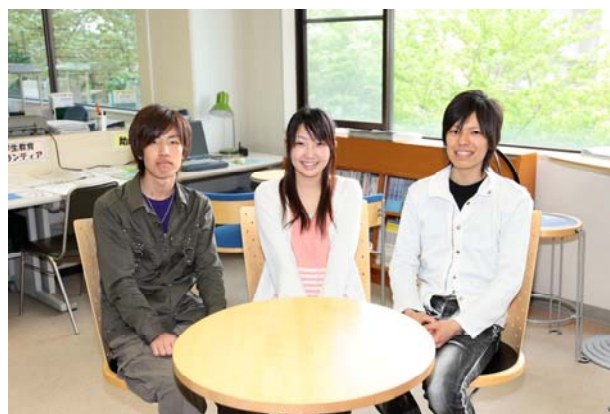


助成金で購入したクレヨン

喜びの声

今回、このようにソニーマーケティング学生ボランティアファンドさんで全国の99大学の中から、私たち明星大学海外支援サークルあすなろの会の「つながる(絵)がお♪」という企画が採択されたことをとても喜ばしく思います。企画であった「つながる(絵)がお♪」も現在、活動段階に入っています。フィリピンの子どもたちの絵、日本の子どもたちの絵。「将来の夢」という共通のテーマの絵でお互いの夢を知り、子どもたちの距離が少しでも縮まればよいと思います。部員一同、ソニーマーケティング学生ボランティアファンドを受賞できて、本当にうれしく思

っています。この活動をきっかけにさらに多くの子どもたちに海外支援ができるよう、がんばります。ありがとうございました。



あすなろの会の主なサークル活動

①国際交流

明星大学あすなろの会は海外支援サークルとして活動しているので、やはりこの活動がメインとなります。主に、現在は日本の中学1年生から高校1年生までにあたるハイスクール生9人と、4棟の幼稚園の子どもたちの支援にあたっています。

ハイスクール生への支援は、手紙のやり取りや紹介カードの作成をしたり、また、奨学金を出していただいているNPO法人社会人あすなろの会の方々と、現地のハイスクール生のかげ橋となることが、明星大学あすなろの会の役目です。(手紙の和文英訳、英文和訳などもします。)右の画像は、平成21年度に作成をした紹介カードの一部です。

【海外のあすなろ幼稚園への支援】

現在、明星大学あすなろの会は海外にある、4棟のあすなろ幼稚園の支援を行っています。特に、4棟目の幼稚園は、学生主導で平成21年8月に完成し、現地の市長からの感謝状も届きました。また、ソニーボランティアファンドの助成金で現地の子どもたちに、クレヨンを送ったほか、明星大学の学園祭である星友祭に模擬店を出しました。その売り上げで、あすなろの会のサークル活動の中で、何を送れば現地の子どもたちにとって有効にかつ有意義に使えるかを考え、今年は遊具を贈ることにしました。贈った遊具で楽しそうに遊ぶ子どもたちの写真も届きました♪♪

②他大学との交流

海外支援を行っている他大学との交流も活動の一つの楽しみです♪

③教育研究

部員の多くが将来、学校の先生になりたいことと、子どもたちの支援をしていく上で、各国の教育システム・教育制度なども知っておいた方がより充実した支援を行えるのでは…という思いから日本の教育にとどまらず、各国の教育システムなどの研究もしています。平成21年度は、日本の教育は「学び合い」、海外ではフィリピンの教育制度について研究、また講演会などに参加しました。



明星大学協力という看板



贈った遊具で遊ぶ子どもたち

● ソニーマーケティング学生ボランティアファンド

ソニーマーケティング株式会社が主催する制度で平成13年に設立。大学生の社会貢献活動を支援し、社会をより良くしていこうとするリーダーシップの芽生えとなる学生ボランティア活動を支援する。昨年は本学のボランティアサークル「ひまわり」も入選。

「MCAT」の紹介

榊原 里奈

(明星大学防犯ボランティア隊：愛称 MCAT)

平成 22 年 6 月、地元日野警察署生活安全課ならびに日野市防災安全課ご指導のもと「防犯ボランティア隊 MCAT」を結成いたしました。

主な活動としては、授業の空き時間を利用して、大学周辺の住宅街の見回りと、小学校低学年児童の下校サポート及び環境美化運動（ごみ拾い）をしております。

また、日野警察署生活安全課と協力して、青パトに同乗して市内の巡回パトロールや駅前での防犯キャンペーンの参加、さらには、交通安全運動への参加、そのほか、一人住まいの老人宅への訪問等々幅広く活動しております。

MCATの意味は、Meisei Community Action Team の略で、つまり地域のために行動するチームです。地域に貢献できることなら何でもやるというのが、MCATの方針ですから、市役所の環境保全課に協力して、CO₂削減運動や緑地保全運動にも参加しています。そのほか、珍しいもの

では橋げたのいたずら書き除去作業や、老人会等の集いで寸劇なども依頼されています。

地域の人々から感謝のことばをいただくのがとてもうれしくて、ボランティア活動をして本当に良かったと思います。

現在の隊員は 27 名ですが、今後も希望する学生はどんどん受け入れて、地域のために頑張っていきたいと思っています。



引ったくりへの警戒呼びかけ（☆2）



6 月 30 日 結成式（☆1）

☆1 毎日新聞朝刊 2010 年 8 月 3 日掲載 【明星大学に防犯ボランティア】

☆2 読売新聞朝刊 2010 年 8 月 28 日掲載 【引ったくり被害防止明星大生が呼びかけ】

☆センター活動報告☆

ここでは2009年12月以降の本センターの主な活動、団体登録の状況について報告します。

2009年12月からの主な活動

月 日	行事等
12 1	交通ボランティア記念写真撮影
8	第11回学生ボランティアグループ会議、「ネットワーク多摩」来室、「日野用心実行委員会」（中央大学）来室
9	カフェプロジェクト打ち合わせ
10	「こすもす」来室、「日野市ボランティア・センター」訪問、エコキャップ52kg（累計419.3Kg）
11	「ネットワーク多摩」2009年度学生教育ボランティア実績報告会、2010年についての検討会
12	ノートテイク講習会（11名）、ゆずり葉チャリティイベント<七生公会堂>
14	後期グリーン&クリーンキャンペーン、「ネットワーク多摩」来室『わがまちの宝探し（仮）』
17	青梅校在学生の日野校見学
18	「読売新聞社」来室（カフェプロジェクト取材）、「こもれびの郷」団体登録
21	「東京グリーン・キャンパス・プログラム」打ち合わせ
22	「オックスファム・ジャパン」来室、第12回学生ボランティアグループ会議、「掃除の会」（仮）第1回活動
25	「日野市教育委員会」来室
1 13	「あしながレインボウハウス」来室、「神奈川県立青少年センター」来室
15	「東京日野ライオンズクラブ」来室
18	「あしなが育英会」来室
19	第13回学生ボランティアグループ会議
20	「大学コンソーシアム八王子」来室
21	第5回ボランティアセンター運営委員会
23	「掃除の会」打ち合わせ
28	「ばんびの会」来室、第1回精神障害罹患経験者の「お話を聞く会」参加者14名
2 1	「みんなの森準備会」団体登録
2	「学生ボランティア団体助成」表彰式（めばえの会）
4	「掃除の会、ホタルPJ」打ち合わせ
5	「災害救援ボランティア推進委員会」来室
8	「東光寺の緑地」話し合い
9	「Star☆Shops」への生け花ボランティア打ち合わせ
13	電気電子工学系新1年生の保護者見学（15名）
19	「Star☆Shops」への生け花ボランティア開始
23	第1回手話講習会（9名）
24	第2回手話講習会（9名）
25	「あきる野100km徒歩の旅」来室、「日の出町社会福祉協議会」来室
26	「日本障害者モータースポーツ協会」団体登録
3 1	ボランティアセンター22号館201へ移動
9	「混声合唱部」日野療護園ミニコンサート
14	「日野市社会福祉協議会ボランティア交流会」参加
16	「日野市ボランティア・センター」訪問「Idear研究会」エコキャップ182.2Kg（累計601.5kg）、「楓設計室」「やまぼうし」「びおら」「Foliage」「Withはあと」来室
17	「あすなるの会」来室
18	「明輝栄誉賞受賞式」ボランティア関連10件受賞、第6回ボランティアセンター運営委員会

- 19 「八王子高月病院」来室
- 23 「東京グリーンキャンパスプログラム」打ち合わせ
- 26 「わーくわーく」「七生福祉園」「大和市上和田小学校」来室、「日野警察」防犯ボランティア募集、「緑地管理ボランティアの会」団体登録
- 4 2 「日野市環境保全課」来室
- 5 「日野警察」来室、「教室移動介助」打ち合わせ
- 8 「手話講習会」打ち合わせ
- 12 昼休みミニ講演会-吉田雅行主幹（11名）、「八王子教育委員会」「重度訪問介護サービス」サポートチーム「むく」「八王子教育委員会」来室
- 13 昼休みミニ講演会-渡戸一郎先生（12名）
- 14 昼休みミニ講演会-吉澤秀二先生（6名）
- 15 昼休みミニ講演会-石田健太郎先生（9名）、「地球緑化センター」「日野市環境保全課」来室
- 16 昼休みミニ講演会-菱山覚一郎先生（9名）、第1回手話講習会（7名）
- 19 昼休みミニ講演会-星山麻木先生（13名）、エコキャップ13kg（累計614.5Kg）、「日野市ボランティア・センター」訪問
- 20 昼休みミニ講演会-渡戸一郎先生（10名）
- 21 昼休みミニ講演会-吉澤秀二先生（7名）、「正夢の会」来室
- 22 昼休みミニ講演会-黒岩誠先生（21名）、「日野警察」「わーくわーく」来室、「めばえの会」説明会
- 23 昼休みミニ講演会-畑野理美主任（12名）、「災害支援ボランティア推進委員会」来室
- 26 「学生教育ボランティア」説明会（5名）
- 27 「学生教育ボランティア」説明会（13名）、第2回手話講習会（4名）
- 28 「学生教育ボランティア」説明会（5名）、防犯ボランティア（13名）
- 29 「学生教育ボランティア」説明会（15名）、「明星大学人文学部福祉実践学科」来室
- 5 7 「株式会社エーキュービック」来室
- 11 「おはようの会」団体登録、第3回手話講習会（8名）
- 13 「茶の花福祉会」「大樹の里」来室
- 14 「日野市青少年委員」来室、「日野市障害者施設交流会部会」出席
- 18 第1回学生ボランティアグループ会議、教育学科1年生見学（20名）
- 19 「Idear 研究会」エコキャップ23kg（累計637.5Kg）
- 21 講義「自立と体験」にて1年生51名来室、第1回ボランティアセンター運営委員会
- 22 「東京都立七生特別支援学校運動会」介護等体験学生12名参加
- 24 「日野市青少年委員」来室
- 25 教育学科1年生見学（20名）、「いわき明星大学」来室、第4回手話講習会（8名）
- 26 「日野市青少年委員」来室
- 27 「夢ヶ丘小学校」訪問、「八王子市東特別支援学校」来室
- 28 講義「自立と体験」にて1年生54名来室
- 29 講義「自立と体験」にて1年生40名来室
- 30 「市内一斉清掃」参加（20名）
- 31 「江戸川区篠崎小学校」来室（めばえの会OG）、「BUKAS」学内団体登録
- 6 1 第2回学生ボランティアグループ会議、「日野市環境保全課」来室、日野ケーブルテレビ放映「明星大学学生が市内一斉清掃に参加」
- 2 「東京ベルディー」来室
- 3 「日野市総務部防災安全課」「ロータリークラブ」来室、BUKAS「神の子」DVD鑑賞会実施
- 5 講義「自立と体験」にて1年生31名来室
- 7 「日野警察署」訪問、「東京災害ボランティアネットワーク」来室
- 8 「かながわ県民活動サポートセンター」来室、「学生ボランティア活動紹介」打ち合わせ
- 9 「日野市環境保全課」「多摩市立聖ヶ丘中学校」来室
- 11 講義「自立と体験」にて1年生51名来室、「東京ボランティア・市民活動センター」「NPO法人ここかまど ころみの会」来室、「日野市障害者施設交流会部会」出席

14	「日野市ボランティアセンター」来室
15	第3回学生ボランティアグループ会議、「日野市環境保全課」来室、第5回手話講習会（14名）
16	「日野市環境保全課」「あきる野市自然の学校」「日野市総務部防犯安全課 安全安心係り」来室、防犯ボランティア説明会
17	「町田市小山中央小学校」来室
18	講義「自立と体験」にて1年生51名来室、防犯ボランティア説明会（8名）、
	「日野市社会福祉協議会」「あすなろ」来室
21	「NPO法人病気の子ども支援ネット遊びのボランティア」来室
23	「防犯ボランティア」ミーティング
28	学生ボランティア活動紹介（10名）
29	学生ボランティア活動紹介（19名）、第6回「手話講習会」（15名）、
	「日野市ボランティアセンター」「日野療護園」来室
30	学生ボランティア活動紹介（18名）、CO ₂ 削減ボラ、防犯ボランティア隊結成式・出陣式（日野ケーブルテレビ取材）、講義「自立と体験」教育学科1年生見学（43名）
7	1 学生ボランティア活動紹介（11名）、講義「自立と体験」福祉実践学科1年生見学（14名）、日野ケーブルテレビ放映「明星大学防犯ボランティア結成式&出陣式」、「日野市ボランティア・センター」来室
	2 学生ボランティア活動紹介（9名）
	3 第1回「ノートテイク講習会」実施（14名）
	5 学生ボランティア活動紹介（7名）、「あしながレインボウハウス」来室
	6 学生ボランティア活動紹介（21名）、「日野市青少年委員」「日野市障害者青年学級」来室、MCAT防犯活動、「東京グリーン・キャンパス・プログラム」打ち合わせ、環境基礎ゼミ（2名）東京都緑保全コーディネーターの方にインタビュー
	7 学生ボランティア活動紹介（25名）（日野ケーブルテレビ取材）、「日野市社会福祉協議会」「日野市青少年委員」「日野ケーブルテレビ」来室、MCAT防犯活動
	8 日野ケーブルテレビ放映「明星大ボランティア活動紹介総括ミーティング」
	9 近隣地域ご挨拶「第1～4武蔵野台自治会協議会会長」「みなみだいら児童館ふらねっと」「すずかけの家」「日野市防災課」「日野警察署生活安全課防犯協会本部」「日野警察署交通課」
	12 「夢ふうせん」「日野市環境保全課」来室、第1回明星大学学生カフェ Star☆Shops 運営委員会出席
	13 「ネットワーク多摩」来室、第7回「手話講習会」（12名）
	14 第1回防犯講習会（18名）、「日野市議会」来室
	16 「日野教育委員会」「日野商工会」「八王子市教育委員会」来室
	19 「ボランティア論」3限（120名）（明星大学におけるボランティア活動、MCAT紹介）
	20 第8回「手話講習会」（15名）
	22 「日野市ボランティア・センター」来室
	23 第2回ボランティアセンター運営委員会
	28 「社会福祉法人ゆずの木」来室

◆明星大学ボランティア団体 (2010年8月末現在)

	団体名	主な活動
1	教育研究部	子ども会活動、夏合宿、学習会など。
2	ボランティアサークル 「めばえの会」	ハンディキャップを持った人たちの支援活動や近隣の福祉施設の活動に協力。夏合宿や、キャンプなど。
3	初等教育研究会 どろんこの会	地域や児童館の子ども達と遊びやキャンプを通してお互い成長する。普段も土、日等に地域や児童館の子どもたちと遊んでいます。
4	ボランティアサークル 「SMILY」	主に夏休みは学生同士の交流として夏合宿を行います。普段は月2回ほど発達障害を持つお子さんと保護者の方と交流しています。
5	Idear 研究会	アイデア勝負の企画屋集団です。ホテル見学ツアーなど面白企画を生み出しています。また、明星大学初の環境サークルです。
6	NPO法人 朝日キャンプ	知的障がいや自閉症の方を対象に、夏に行う山や海でのキャンプなど。その他年間通して様々なプログラムを実施しています。
7	ひまわり	七生福祉園低年1寮の子どもたちと、学生の考えた遊びを一緒に行います。
8	へき地教育研究会	約1週間、地方の小学校・幼稚園に入り、先生方・子どもたち・地域の方との交流を行います。
9	児童文化研究会 人形劇団「まめ」	児童館等で、人形劇の公演やバルーンアート、工作等を通じて、地域の子どものたちとの交流をしています。
10	海外支援サークル 「あすなるの会」	①海外の恵まれない子どもたちに奨学金を送っています。 ②海外に幼稚園を建設しています。 ③英語教育。 ④他大学との交流。 ⑤国際シンポジウム参加など。
11	BUKAS	①海外ボランティアスタディツアー ②児童養護施設でのボランティア
12	授業研究会 「おはよう」の会	将来本気で教師を目指す人達を中心に授業力を高めていくことを目的に活動しています。
13	Star☆Shops	12号館1階に、地域との交流にも貢献する“進化型カフェ”を、NPO法人「やまぼうし」と協働して運営しています。世界につながるOne Actionをコンセプトとして、障がいのある方と共に、イベントの企画・運営などを行っています。
14	防犯ボランティア隊 MCAT	地域の警察・市役所・自治会等と協力し、授業の空き時間に地域の安全パトロールを実施。主な内容は、防犯・防災・環境美化・交通安全・児童の下校サポート等地域貢献活動です。
15	Rainbow Sign	大学唯一の手話サークルです。手話を覚えることで、今まで話ができなかった人たちとも会話ができて、さらに沢山のつながりができます。

◆ボランティアセンター登録団体 (2010年8月末現在)

67 団 体	<p>1: 障害児放課後活動クラブオンリーワン (府中市八幡町) 2: NPO 法人 Filo (多摩市落合) 3: NPO 法人 Hope Scoop Asia (福生市本町) 4: 「めばえ」の会 (青梅市新町) 5: コシヒカリの郷南魚沼市自然体験村実行委員会 (新潟県魚沼市六日町) 6: 日の出町ボランティアセンター (西多摩郡日の出町) 7: NPO 法人日本子守唄協会 東京多摩支部 (福生市加美平) 8: 社会福祉法人武蔵野会 すぎな愛育園(八王子市台町) 9: ひの市民活動団体連絡会[ひの市民活動支援センター] (日野市日野) 10: 日野市立つばさ[自立訓練・就労] (日野市旭が丘) 11: 日野市立やまぼと[地域活動支援] (日野市旭が丘) 12: NPO 法人なかよし会 なかよしクラブ (三鷹市牟礼) 13: あさやけ作業所 (小平市小川) 14: NPO 法人全国移動サービスネットワーク (世田谷区船橋) 15: ひの炭やきクラブ (町田市小山町) 16: 水と緑の日野・市民ネットワーク[みみネット] (日野市日野本町) 17: 児童養護施設れんげ学園(東大和市芋窪) 18: 都立多摩桜ヶ丘学園 島田分教室(多摩市中沢) 19: 社会福祉法人 東京光の家(日野市旭が丘) 20: 社会福祉法人 夢ふうせん 工房夢ふうせん (日野市旭が丘) 21: 東京都日野療護園 (日野市落川) 22: 日野市 環境情報センター (日野市日野本町) 23: 東京 YWCA 国領センター (調布市国領町) 24: 社会福祉法人共働学舎 (町田市小野路町) 25: 日野市国際交流協会 (日野市本町) 26: NPO 法人 ふみ月の会 (調布市布田) 27: 立川市青春学級 (立川市柴崎町) 28: あきる野市社会福祉協議会 市民活動推進係 (あきる野市平沢) 29: VFM 東京 (青梅市) 30: いきいきふれあいフェスティバル実行委員会 (青梅市今寺) 31: 島田療育センター (多摩市中澤) 32: あきる野青年会議所 (あきる野市秋川) 33: 日本児童野外活動研究所 (品川区西五反田) 34: 日野・発達障害を考える会「スキッパー」 (日野市多摩平) 35: 特定非営利活動法人 療育ネットワーク川崎 (川崎市多摩区) 36: CoCoA (豊島区東池袋) 37: 社会福祉法人 ココロ学舎 (西多摩郡瑞穂町) 38: 社会福祉法人 至誠学舎立川 至誠ホーム (立川市錦町) 39: ボランティアグループこすもす (日野市多摩平) 40: NPO 「おたすけ個別補習塾」 (日野市三沢) 41: 地域デイサービス テイクオフ (立川市高松町) 42: 日野市障害児クラブ (日野市平山) 43: 野楽 (tama Rock) (府中市是政) 44: NPO 法人 グループゆう (東大和市中央) 45: 財団法人日本野鳥の会 (日野市南平) 46: 日野市青少年委員の会 (日野市神明) 47: NPO 地球緑化センター (中央区八重洲) 48: ペットを災害から守る市民の会 (立川市高松町) 49: 社会福祉法人 山の子会 山の子の家 (日の出町大久野) 50: すみれいきいきケアサポート (八王子台町) 51: 滝乃川学園 (国立市谷保) 52: 財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン (新宿区西新宿) 53: スープの会 (新宿区赤城下町) 54: 特別養護老人ホーム こもれびの郷 (あきる野市雨間) 55: 特定非営利活動法人 オックスファム・ジャパン (台東区東上野) 56: 知的障害児者デイサービスグループ ばんびの会 (西東京市田無町) 57: みんなの森準備会 (西多摩郡日の出町) 58: 任意団体日本障害者モータースポーツ協会 (青梅市二俣尾) 59: 医療法人社団東京愛成会 高月病院 (八王子市宮下町) 60: 緑地管理ボランティアの会 (日野市旭が丘) 61: サポートチーム「むく」 (多摩市山王下) 62: きょうだいの会 (横浜市南区) 63: 社会福祉法人 正夢の会 昭島生活実習所 (昭島市松原町) 64: 湘南自然学校 (茅ヶ崎市ひばりが丘) 65: 特定非営利活動法人 ECOPLUS (千代田区鍛冶町) 66: 東京ローターアクトクラブ (日野市程久保) 67: NPO 法人 ここかまど (八王子市上野町)</p>
--------------	--

◆ 明星大学ボランティアセンター運営委員会の構成 (2010年8月末現在)

役 職	氏 名	所 属
センター長	渡戸 一郎	人文学部 人間社会学科 教授
副センター長	吉澤 秀二	理工学部 環境システム学科 教授
学生部長	垣内 国光	人文学部 実践福祉学科 教授
センター長が必要と認める者	黒岩 誠 星山 麻木 菱山 覚一郎 作間 敏宏 安田 満 富田 一弘 村山 光子 岸部 亨	人文学部 心理学科 教授 教育学部 教育学科 教授 教育学部 教育学科 教授 造形芸術学部 造形芸術学科 准教授 経済学部 経済学科 専任講師 ボランティアセンター担当事務局次長 学生サポートセンター長 青梅事務室 課長
事務局長	赤山 徹	
専任職員	吉田 雅行 畑野 理美 鐘ヶ江 智恵子	日野校 ボランティアセンター主幹 日野校 ボランティアセンター主任 青梅校 青梅事務室 ボランティア担当
オブザーバー	石田 健太郎	人文学部 社会福祉実習指導員

